

一時間のクラシック

イノック・アーデン

～語り手とピアノのための op.38

原作 A.L. テニスン 作曲 R. シュトラウス 日本語訳台本 大家純子

2025年10月5日(日)

開演 13:30 (開場 13:00)

岩内地方文化センター

岩内郡岩内町字万代51-7

朗読

谷 篤

Atsushi Tani

ピアノ

大家 純子

Junko Oie

チケット

全席自由 1,000円 (当日1,500円)

※ 休憩なし、一時間の上演です。

※ 小さなお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

※ 車椅子席をご希望の場合は、事前にも問い合わせください。

チケット取扱

● 岩内地方文化センター

TEL0135-62-0001 (月曜休館)

● インターネット販売



問い合わせ

岩内町教育委員会生涯学習課

TEL0135-67-7099

主 催

岩内町教育委員会

共 催

公益財団法人北海道文化財団

後 援

北海道



イノック・アーデン

美しい娘アニー・リー、裕福な粉屋の息子フィリップ・レイ、
そして船乗りの父親を海で亡くしたイノック・アーデン。

幼なじみの三人は、断崖が続く海辺の小さな村で共に育つ。

やがて、イノックはアニーと結婚し幸せな生活を送るが、
ある時甲板長として長い航海に出たまま、10年経っても戻らない。

帰りを待ち続けるアニーをフィリップは控えめに支え、ついに永年の恋心を告白、二人は結ばれる。
けれどもイノックは、不運と戦いながら懸命に生きていた…。

原作「イノック・アーデン」は、イギリス・ビクトリア朝時代の詩人アルフレッド・テニスンによる物語詩。

無償の愛、誠実な友情、死生観などが簡潔な言葉運びで描かれるこの物語を、後にドイツの作曲家リヒャルト・シュトラウスが朗読劇に仕立てました。

ドイツ語訳の台本に音楽を挿入し、自らピアノを弾いてヨーロッパ各地で上演、大変な人気を博したそうです。

この度の岩内公演で使用する日本語台本は、長年継続中の「一時間のクラシック」シリーズのために、原作の翻訳から手がけ、推敲を繰り返したオリジナルです。

語り手には、朗読劇のスペシャリストとして全国各地でご活躍の谷篤氏を迎えます。

秋の午後のひととき、どうぞお楽しみください。

「一時間のクラシック」の会 大家



朗読
谷 篤 Atsushi Tani

東京藝術大学大学院修士課程修了。日、仏、独、伊、露、英の古典から現代までの歌曲を広くレパートリーとし、バリトンからカウンターテナーの音域までを歌う卓越した表現力と演技力は、高い評価を得ている。リサイタル「歌の行方」全3回、「ひとときの歌1～23」企画主催。現代音楽の主要コンサートに多数出演。邦人作品の初演、新作オペラへの出演、邦楽器との共演も多い。87～99年オペラシアターごんにゃく座の活動に客演。小学館刊行「林光の音楽」に「骨片の歌」、「苦行・・・1974」のライブ演奏録音収録。全集のための書き下ろし「林の光」(谷川俊太郎・詩／林光・曲)収録。語り手として、音楽と朗読のための「イノック・アーデン」、「兵士の物語」、「プラテロと私」翻訳、公演。シューマンのピアノ曲と共に朗読する詩集「エオリアンハーブ」、「シューマンの情景」作詩、公演。22年「鼓くらべ」(山本周五郎・作)付随音楽を作曲、公演。24年マイケルモーパーゴ原作「モーツァルトの質問」を翻訳、高橋宏治氏に朗読のための付随音楽を委嘱、初演。99年NHKラジオ第2放送「武満徹エッセイ集 全11回」朗読。合唱のための編曲と訳詩、多数。網走、新潟で朗読サークル「声の教室」他を指導。東京藝術大学音楽学部非常勤講師。日本大学芸術学部映画学科非常勤講師。



ピアノ
大家 純子 Junko Oie

静岡県出身。国立音楽大学ピアノ専攻卒業後、モーツァルテウム音楽院(ザルツブルグ)に学ぶ。これまでにソロ、室内楽、伴奏ピアニストとして多数のリサイタル、コンサートに出演。CDレコーディングにも参加。

中でも長年傾倒してきた歌曲の分野では、関定子氏はじめ多くの声楽家と共演、トマムサマーセミナー他マスタークラスでの公式ピアニストも務める。

2017年より、コンサートシリーズ「一時間のクラシック」を主催継続中。Vol.5朗読劇「イノック・アーデン」(A.L. テニスン原作 / R. シュトラウス作曲)では、オリジナルの日本語訳台本も手がけた。女声合唱団リラ、アンサンブル煌、各常任ピアニスト。岩内町在住。